

いまここにいるあなたこそが、みんなにとっても本当に大切に必要で存在で在るとしていませんか？



もじうみ里海探検隊 2020

みんなでうみやみずべにあそびにいこう | 特定非営利活動法人あそびとまなび研究所

うみやみずべにいく

みずべにはたくさんのいきもの。水辺と森がであう場所に、豊かな里海と里山があります。すぐそばの豊かな自然に出会い、なかまと過ごし、あそび、そして、まなびます。

なかまといっしょに

実際にフィールドに出て、自分の目で見、耳で聞く、興味のひかれるものに触れる、探す、自然の中で過ごすことで、自分は自然の一部だと体感できます。大切にしたい自然。それは、自分の一部だから、そして、自分は自然の一部だから。とてもシンプルなことです。

人間がいなくても（むしろいない方が豊かに）自然はそこに在るけれど、自然がなければ人は生きていけません。

子どもたちは、なかまとのあそびの中でこそ、まなびます。一人ひとり大切な存在。コロナの混乱の中でも、毎日子ども達は育っています。

子ども達が自分の素晴らしさや力に目覚め、本当の自立をし、自分の大切な未来を自分の手で創っていただけますように。



であう

なかまとであい 自分を知る

フィールドに出会い フィールドを学ぶ

自然の中にお邪魔するとき、身につけておくべきこと。自分の身を守り、仲間を守り、そして、自然を守る。現場に出るその都度、子供達自身が考え、学び、体験を通じて、自分の身につけていきます。教え込まれても身につかない、親や大人が与えられない「体験を通じた学び」がそこにはあります。



長い海岸線を持つ北九州 多彩な水辺にて

近くて豊かなフィールドに四季を通じて出る。季節や時間により全く異なる自然と遭遇。現場は驚きに満ち溢れています！

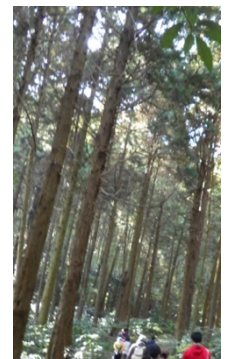


豊かな里山の水辺であそぶ



水源を探して里山探検隊出動！

この小川はどこからはじまっているのだろう。この湧き水はどこから？山から寺の下に流れ込む水。見たことのない水棲昆虫。手のひらより大きなカニや、どんこを手掴みで捕まえてびっくりしたりします。四季の野草が溢れています。



こどもたちがはじめるあそび

こどもたちのあそびに、むだはありません。時を忘れてひたすらあそぶ。環境を整えて遊びが生まれるのを待つ。真似したりけんかしたり、やすんだり、ぼおっしたりも大切なあそびの時間。



問い合わせ



FB



HP「あそけん」



070-5495-6543 (留守電対応)

もじうみ里海探検隊 2020

みんなでうみやみずべにあそびにいこう | 特定非営利活動法人あそびとまなび研究所

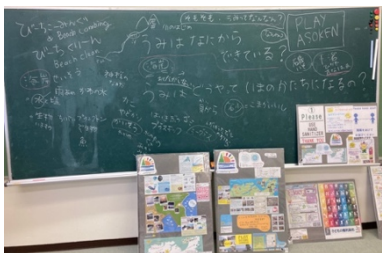
9月 山寺の池でカヌー体験



山寺とのであい

湧き水の溜池に浮かぶ、山寺。その池や小川であそびます。普段は山や池の生き物達が静かに暮らしているところにお邪魔します。フィールドマナーや安全について、活動しながら学びます。カヌーに乗って水面体験。でっかい鯉、美しい蓮の花に間近で遭遇。湧き水。そのときちびっこは、秋の野草を摘んだり、生き物探しをしたり。山寺のものを探検していました。

11月 うみはなにからできているの？ うみのごみって、どんなもの？ 海ってしょっぱいよね？



海は何からできているん？

瀬戸内海に面する、いさんだの浜。もじ少年自然の家目の前の、浜辺で活動します。海は何からできているの？みんなで探しに出かけます。不思議なものが次々見つかりました。これはなんだろう？エイの赤ちゃんが打ち上げられていたり、あかもくが打ち上げられていたり、貝殻もたくさんひろいました。



実際に、海で「海の水」をくみました

海には、塩があるのかな？

海の水から、美味しい塩が、できました！



12月 もちつき体験 里の冬。新年を迎える準備です



若手や学生と一緒に



活動には、スタッフとして、さまざまな若手が参加しています。一緒に考え、学び、活動しながら、現場で気づきを深めていきます。

ちびっこたちもいつか、スタッフとして活躍してね



1月 海辺をよーく観察してみよう びっくり ごみ 山盛り できました。



海辺の干潟や砂浜をよーく観察してみよう

海岸に1日いると、海は近寄ったり、離れたり。どんどん変化していきます。干潟がぐんぐん広がって、海の下から生き物が現れます。くりかえし、四季を通じて、同じ水辺を訪れます。いつも新しい発見や出会いがあるね。



いまここにいるあなたこそが、みんなにとって本当に大切に必要で存在で在るとしていますか？